

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 168 2014.3.2 連絡先 402-1622 >

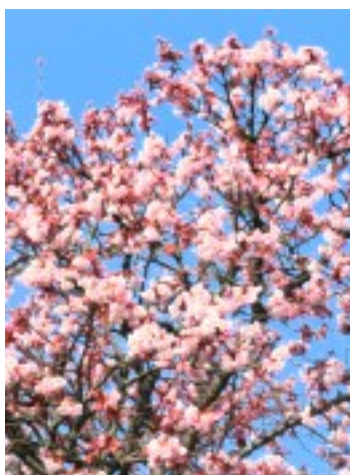
議会が始まりました

25日から2月議会が始まりました。この議会では、2013年度最終補正予算、2014年度本予算などが審議されます。

新年度の予算は、基本的には12月議会で説明されたように、新規事業は原則見送りとし、例外として、新年度の補正予算計上では事業化が困難なもの、全国の自治体、もしくは県内で一斉・一律に実施するもの、国体等、開催が決定され変更が不可能な大会・イベント経費、その他緊急な対応が必要なため個別に判断したものを予算化したということです。

それでも一般会計の予算額は、1455億327万6千円計上され、前年度比でわずか1%（15億2494万8千円）減に過ぎません。しかもその財源は、182億5910万円は市債（借金の積み増し）であり、61億3千万円は財政調整基金（預貯金の取り崩し）です。

新規事業としては、「小中一貫校として整備される伏虎中学校を除く17中学校の3年生の普通教室と特別支援教室、相談室等にエアコンの設置」に5億4462万2千円、「JR和歌山駅のさらなるバリアフリー化（ホームからの転落防止用内方線付き点字ブロック及び音声案内の設置）に対する助成」に1500万円、「住環境の改善を図りながら、市民の生命、財産等に対する危険を取り除くため、倒壊する危険性の高い老朽空き家等の除却に対する助成」に651万5千円など、15事業となっています。



みち子のひとりごと あと少しで

写真を撮りに来ている方もいらつ
しゃいました。本格的に
三脚を据えて、鳥が飛ん
でくるのを待っているよ
うでした。
芸術的な写真をねらつ
てはいない私ですが、そ
れでも、どの角度がいい
かなと一回りして撮りま
した。カラーで印刷でき
ないのが残念ですが、ひ
と足早い春をどうぞ。

毎年早咲きの桜が、あと少しで
満開になりそうです（2月24日
現在）。国道24号線、地蔵の辻
バス停前の桜です。周りの木々は
冬支度のままなのに、一本だけピ
ンクに着飾り、春模様です。日当
りのいいところでは8、9分咲
きほどになっています。

秘密保護法廃止へ

しんぶん赤旗日刊紙より

戦争放棄に反する「軍機法」

安倍晋三首相は秘密保護法について早くから「日米同盟強化を見据えたもの」と述べ、海外での戦争参加に道を開く集団的自衛権の行使解禁などの改憲策動と一体に位置づけてきました。一貫して同法策定の推進力になってきたのが日米軍事同盟です。

2005年には軍事情報の共有を「あらゆる範囲で向上させる」ことを確認。07年には、軍事包括保護協定の締結で、秘密軍事情報に対し米側と「同様の保護措置」を撮ることを約束しました。

安倍首相は「メディアや野党が戦争と結びつけるのは、PKO法案のときもそうで、いつも

なんです。心配するような変化が起こったのかと言いたい」と述べ、軍事立法としての性格を隠そうとしています。

実際は、イラク戦争時の自衛隊の後方支援活動が違憲と断罪される（08年名古屋高裁）深刻な事態まで進んだのです。秘密保護法によって、このような海外戦争の実態さえ国民には隠されることとなります。

こんにちは加藤なおとです



私自身のこと

もう35年前になります。和歌山の障害者作業所の指導員に就職するために愛知からやってきました。作業所の障害持つ仲間、よそ者の若造と初めて出会うのに、まるで旧知の仲のごとく親しく、まあぶっきらぼうでしたが、接してくれました。彼らの境遇たるや障害を

持たない人から見るとあまりにも厳しい実生活なのです。にもかかわらずみな総じて明るい！障害があると「食べる」

「トイレ」「歩行」「理解度」一つ一つに援助が要ります。ですから、作業所では「仕事する」以前の生活全般にわたっての援助が大事でした。でもそこは生きがいの場でもありました。ならば作業所のできる前は、いったいどういった生活を送っていたのだらうか？働く場や集団から疎外された家族が全面に介護を背負っていました。自分の子だから当たり前という親家族。これが現実です。この日本の「あたりまえ」は許せないと思いつたわけです。最初から崇高な理念があったわけではありませぬ。障害の人が身をもって「すべきこと」を教えてくださいました。

第37回障害者家族のつながりをひろめる文化祭

「つながる よろこび わかちあう なかま」

3月2日(日)

午前10時～午後3時

県立体育館

ステージ発表や模擬店、交流企画など



障害者家族のつながりをひろめる文化祭実行委員会